

市 政 を ^{ただ}質 す ！

一 般 質 問

2月定例会では、12議員が一般質問を行いました！

議員個人が市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問を行います。

スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、右記2次元コードからもアクセスできるほか、各議員の顔写真下に掲載された2次元コードから直接、議員の映像配信をご覧ください。



スマートーC周辺まちづくり 委託事業の経過と今後

Q 民間事業者への調査の結果は。

A 複数社より事業展開の可能性があるとの回答が得られた。

Q その件数は。

A 流通業務系企業が8社、建設系のデベロッパーが6社である。

Q 3社の案を基にして2つの素案が作られた。この素案には農業がない。なぜか。

A 直販施設だとか物販施設等が入っている。農業全てを度外視したというわけではない。

Q この2つの素案は市街化区域に編入しなければできない案だ。市は承知しているということか。

A まだ素案が決まったものではない。これからの課題だ。

Q 市街化区域編入が決まった場合、地域での営農は続けられるか。

A 営農を希望する農業者に対しては意向を尊重し支援していく。

Q 素案の1、2については農地がない。農政としての受止めは。

A まだコメントする段階ではない。

災害予想と対策

Q 大地震、大津波による下水道被災の想定は。

A 下水道管の破損、マンホール結合部の破断に対して、管路調査等の結果に基づき、順次更新を進めている。

Q 被災時の避難所トイレの準備数は政府の新指針、スフィア基準（20人に1基）の個数か。

A 計画的に整備し増やしていく。

Q 原子力防災のしおり、広域避難ガイドブックの説明会予定は。

A 今年度は4回の説明会、5回の出前講座を開催し、ホームページで周知している。



原子力防災のしおり
（令和6年11月に全市に配布された「広域避難ガイドブック」）



すぎた げん たらう
杉田源太郎
(日本共産党市議会議員団)



不登校対策

Q相談できない、したくない保護者への対策は。

A子ども支援課、家庭支援課の二課体制から成る学校福祉部が、学校生活や家庭生活に問題を抱える児童・生徒の生活改善等に取り組んでいる。令和5年度に支援した児童・生徒は合計94人で、そのうち学校に登校できた児童・生徒が76人、チャレンジ教室等につながった児童・生徒は15人であり、学校福祉部が関わることで多くの児童・生徒の前に進む姿が見られるようになってきている。またその他にも心の安定が図られ、生活の改善が見られた児童・生徒が多数あり、本市の取組みが大きな成果に結びついていると考えている。

コミュニティ・スクール

Q令和5年度から市内全中学校区においてスタートしたコミュニティ・スクールの活動が児



すずき 鈴木まゆみ
(無党派)



童・生徒の成長や地域社会の活性化につながっているか。

A地域防災訓練で防災アプリ講座を中学生が主体となって企画運営した地区があり、多くの高齢者が中学生の指南を受け、スマートフォン等で防災情報取得する方法を学ぶ姿が見られた。また、自治会体育組織の力によって特別支援学級の児童がモルック体験をする機会を得て、講師の手ほどきを受けながら、仲間や地域とつながり、楽しんでプレーすることができた地域もあった。



地域交流センターの今後は

Q地域交流センターを公民館からどのように発展させていくのか。

A多様な人々がつながる交流拠点、学び楽しむ生きがい拠点、地域で課題解決の活動拠点の3つの基本方針を掲げ、持続可能な地域コミュニティを形成し市民の皆さまが将来にわたって心豊かに暮らせる地域の実現を目指す。

Q港地域交流センターの整備の考え方とスケジュールはどうか。

A施設や設備の老朽化、バリアフリーに未対応という施設の課題を認識し、建て替えを決定した。来年度にかけて基本構想、基本計画を策定し、その後、基本設計、実施設計を行い工事に着手する。現時点では令和11年度完成を見込み、出来る限り早期に完成できるよう取り組んでいく。

治水対策の計画

Q今後の木屋川流域治水対策の計画を伺う。

A本市では公園や学校などの公共



ますい よしのり
増井好典
(凌雲の会)



施設を活用した雨水貯留施設や内水排除を目的とした雨水排水ポンプの検討など、治水対策に取り組んでいる。木屋川周辺の遊休地を活用した遊水地の整備や水路への逆流防止対策などの検討に着手した。

Q栄田川の越水対策の改修工事と今後の計画はどうか。

A高潮や木屋川水位上昇の影響を受ける下流区間において、護岸かさ上げを加速して進めている。また、栄田川流域の中新田地区においては、河川改修の実施に向け、用地測量や物件調査を実施し、工事に着手していく。



木屋川下流域

焼津漁港の地震・津波対策

Q 市民への説明は。

A 静岡県焼津漁港管理事務所が自治会関係者に対して、定期的に進捗状況を伝える説明会を開催している。市はHPや広報やいづ臨時号で津波対策施設や津波シミュレーション結果を知らせている。市政座談会などで津波対策の状況など市民にお知らせしている。

Q 港口水門の進捗状況は。

A 令和4年度を初年度とする焼津地区特定漁港整備事業計画において、構想として明記をされた。今後は構想から事業化されるよう、引き続き、繰り返し要望を行っていく。



静岡県焼津漁港管理事務所のHPより



はらぎひろかず
原崎洋一
(自由みらい)



焼津市立病院の経営強化

Q 公立4病院、市内病院、診療所の連携による取り組みは。

A 志太榛原医療圏の公立4病院では、当院の認知症疾病医療センター、脳卒中センター、周産期母子医療センター等での運用を始め、各病院、各診療科間の医療機能の相互補完体制を図っている。県内基幹病院ともふじのくにネットでの診察情報、画像情報等の共有により連携している。地域医療支援病院として、他院、開業医等からの申し込みにより、CT、MRI、心電図、エコー、骨密度などの高額医療機器による検査を実施している。

Q 持続可能な医療体制の維持は。

A 令和6年度から医師を病院事業経営戦略監に任命し、経営改善に取り組む。診療科長が地域の医療・福祉施設を訪問し患者を増やして、収益向上を目指す。

海業事業計画

Q 本市の海業は、全国的に見てどのような位置にあると考えているか。

A 海業が国の計画に明記される前から、地域資源を活用した先進的取り組みを進めており、全国有数の先進地域であると自負している。今後は全国モデルケース創出を目指す。

Q 本市が計画している海業の8つの事業のうち、水産・観光交流施設以外の内容は何か。

A 焼津PORTERSの横展開、



焼津市の海岸風景



しのみやしんいち
四之宮慎一
(凌雲の会)



経済波及効果の検証、浜通りの歴史・文化・景観資源を活かした観光コンテンツ、メタバース等を活用した教育体験コンテンツの開発などを予定している。

Q 焼津さかなセンターのリニューアルに関し、市の支援状況は。

A 運営会社と第三者を交えてコスト削減や売上増加策を検討しており、市もその検討に加わっている。令和7年度は40周年事業も含め、予算を拡充して支援する予定である。

デジタル通知 今後の取り組み

Q 今後、デジタル通知の登録者をものように増やしていく予定か。

A 市LINE公式アカウントなどを活用して案内を行うほか、窓口での丁寧な周知に努め、アプリの利便性向上とあわせて利用者の増加を図っていく予定である。

焼津市として災害備蓄の状況 はどのようなになっているか

Q 災害備蓄倉庫はどこにあるか。

A 消防防災センター、清見田公園、石津西公園、焼津四丁目、宗高地内の五カ所に配置している。

Q 国や県などからの支援物資の受け入れ場所はどこか。

A 物資集積拠点の市総合体育館に受け入れる計画である。

Q 災害備蓄品や支援物資はどのような手順で、避難者に届けられるのか。

A 指定避難所となる小中学校などを初期の配送先としている。

Q 支援物資などの配布などに配慮すべき点があると考えているか。

A 配布数量や受取先の表示などに適切な対応が必要と考えている。

Q 各自主防災会で高い場所に倉庫を整備する場合の補助はあるか。

A 自主防災組織育成強化事業補助金を活用してもらう。

Q 津波避難タワーへの資機材保管機能付きベンチの設置について、対応はどのようにしていくか。

A 県の地震津波対策等減災交付金



よしだ しょういち
吉田昇一
(自由みらい)



の補助対象が充実したことからトイレなどを収容した防災ベンチなどを計画的に設置していく。



大井川防災倉庫 (宗高地内)

流域治水の取り組みとして の雨水貯留施設等の整備

Q 公有地を活用した貯留施設の整備に向けた検討が可能か。

A 水災害対策プランに基づき、遊水地や地下貯留施設の整備を進め、公園・市立総合病院や学校などの公共用地を活用した雨水貯留施設の整備を計画的に進めていく。公共用地と併せ、民間用地を活用した整備についても検討する。

年末年始の医療機関の混雑を解消するために出来ることは何か

Q 市立総合病院救急室の体制は。

A 混雑を予測し救急科常勤医師によるバックアップ体制や当直研修医及び救急室看護師の増員など、体制強化を図った。

Q 市民へのアナウンスは。

A 今回の年末年始の状況を踏まえ、基本的な感染予防対策等の実践をお願いし、逐一情報を発信していきたい。

Q 当番医を増やすことは。

A 通常でも医療機関は激務が続いておりどこまで無理をお願いできるか、医師会と協議していく。

アクアスやいづの今後

Q 開業に向けての総事業費は約17億3千5百万円であった。開業以来の経費の総額は。

A 約19年間で指定管理料は約5億9千万円、補修費は約1億8千万円、その他費用約3億1千万円である。

Q 施設評価(施設カルテ)に令和10年以降は検討とあるが。



あきやまひろこ
秋山博子
(無会派)



A 現時点では継続としているが利用者数や施設の老朽化等を勘案しながら検討していく。

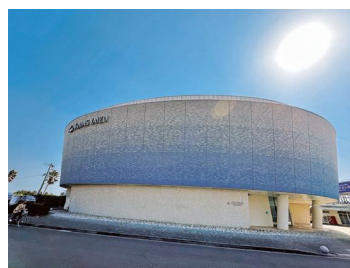
広域連携の可能性

Q 市広域連携における公共施設マネジメントは。

A 近隣自治体と施設を共同利用することで相互の機能を補完するとともに行政サービスの向上と経費削減も図ることができる。

Q 近隣市と生き延びるために広域連携の機運が重要では。

A 非常に大切なことだと認識している。問題や課題はいろいろ違うので、お互いに補完していくことがベストだと思っている。



海洋深層水利用施設
「アクアスやいづ」
(2008年オープン)

観光産業振興の切り札！やいづ親善大使の今後の活用策を問う

Q 現在のやいづ親善大使の選定基準は。

A 本市の出身者もしくは本市にゆかりのある者、本市を本拠地として活動する者、広く影響力を持つと認められる者と要綱に定めている。

Q やいづ親善大使の活動を効果的にするための新たな取り組みは。

A 今年度から焼津ホテル旅館組合と連携し、宿泊施設で使える2千円クーポン付き名刺を配布している。

Q 一人何枚配っているのか。

A 1人500枚である。



やいづ親善大使（一人500枚配布）
2,000円クーポン付き名刺
（焼津市政策企画課提供画像を一部加工）



いしはらたかゆき
石原孝之
（無党派）



藤枝市内の焼津市所有山林の歴史的意義と管理、活用体制の充実

Q 豊田地区の意思を大切にしたいという思いを受け、歴史ある豊田村が所有していた山林の今後の管理、保全、活用について、どのように反映させる方針か。

A 市有林の現在の管理体制と育成計画について現在では育成という方針はなく、山林の維持管理を継続して行っている。

Q 着々と進んでいる豊田地域交流センターの建設に合わせ、この山林の歴史的遺産を地域交流や社会教育として展開するなど、本市は今後どのような連携、活用策を検討しているのか。

A 新しく完成する豊田地域交流センター内に先人の当時の思いを表した館内へのパネル展示などを考えている。

第7次総合計画策定に向けて

Q 自治基本条例には「総合計画策定に当たり市民参加のもと十分に話し合い」とある。市民参加の話し合いはどのように行うか。

A 商業や教育など各団体に対するヒアリングを実施する予定。

Q 市民の声に広く耳を傾けるには。

A 市の公式ライン活用その他、寄せられた意見は丁寧に検討したい。

Q 策定の視点であるシビックプライドはどのように醸成されるか。

A 教育関係団体と連携し取り組む。

Q 小4から中3まで焼津市に関するテーマを、焼津市統一カリキュラムとして作り上げる計画を。

A 直ちに実行は難しいが、策定に当たって考え方を整理し、シビックプライドの醸成を大切な視点として盛り込みたい。

Q 総合計画の成果指標はSDGsの目標と関連して表現するか。

A SDGsと関連付けた進捗管理は考えていないが、どのように表現できるか研究していきたい。



ふじおかまさや
藤岡雅哉
（無党派）



焼津市におけるDXの現在地



第6次焼津市総合計画
第2期基本計画2022-2025

Q DX推進計画で「書かない・行かない市役所」実現を掲げているが、完全デジタル化の進捗は。

A 進捗の%表現は難しいが、令和7年度までに環境としては整う。

Q ノーコードツール導入成果は。

A 18業務に導入し、約2600時間削減。

Q 業務プロセスの棚卸の実行は。

A ノーコードツール活用時には業務フロー図を作成している。

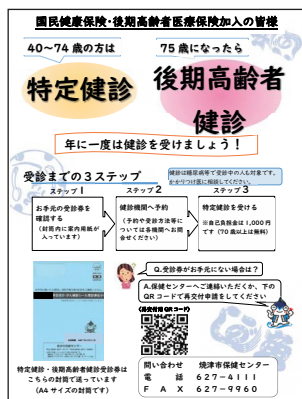
Q 業務改善の際は業務フロー図に加え、工数計算による時間とコストの削減効果の想定は。

A DX推進課を中心に全庁的に取り組んでいきたい。

特定健診の受診率向上を

Q 特定健診の受診率向上のため、受診しやすい環境を整備すると聞いているが、具体的にはどのような事業を進めているのか。

A 健診の未受診者に対し、過去の受診歴や年齢などから、その都度、対象者を選定して、受診勧奨通知を送付、また、平日働く皆様が受診しやすいように、今年度から日曜日の集団健診を年4回に増やし、受診機会を確保している。特定健診を受けることによる健康マイレージのポイント付与や、保健委員による受診勧奨活動も行っている。また、健康づくりへの関心を持っている



1年に1度は健康診断を！
令和6年度特定健診案内チラシ
(焼津市健康づくり課作成)



おかだ みつまさ
岡田光正
(無党派)



ただき、ご自身の健康管理に役立てていくために、令和7年度夏頃の健康アプリの導入に向け、準備を進めている。

焼津市立総合病院の機能強化、維持の方針を伺う

Q 経営強化プランを踏まえ、医療圏における中核病院として、新病院をどのように整備していく方向なのか。将来を見据えた人口構造や患者数の動向等をどのように考えていくのか。昨年度策定の経営強化プランどおりでいいのか。

A 新病院は、引き続き医療圏における中核病院としての役割を担うため、高度急性期機能を含む急性期病院として整備していく。また、現在、国が検討を進めている新たな地域医療構想及び将来の医療需要の変化などに対応できるよう、一部の病棟を機能転換が可能な工夫もしていく。

大井川地区の振興

Q 大井川庁舎の改修工事の進捗状況は。

A 令和9年1月にグランドオープンする。並行して、にぎわいづくりや憩いの場として令和8年夏頃に庁舎前広場の改修工事の完成を目指す。改修後、期待される効果は、市民サービス機能、健康維持・生きがいづくり機能、教育機能の主要機能が統合的に提供される拠点となることを目指す。

Q 大井川港へのクルーズ船誘致の状況は。

A 交流人口の増加、地域経済発展に資するにぎわい創出のため、官民連携して取り組んでいる。船会社は高い関心を示しており、近い時期に初寄港に関して発表できると確信している。

Q クルーズ船のサイズは。

A 全長130メートル、総トン数1万トン級を予定している。

Q 寄港頻度についての考えは。

A 1隻寄港することで他社船の寄



い で て つ や
井出哲哉
(凌雲の会)



港の可能性が高まる。並行して誘致活動を進めている船会社もある。

Q 拠点施設と観光の進め方は。

A 物流とにぎわいの両面で栄えるよう取り組んでいる。観光については、漁業や水産加工業の体験や本市の食の魅力を満喫できる企画の造成を進めている。



焼津市役所大井川庁舎

図書館の読書バリアフリー

Q 読書バリアフリーの今後の展開をどのように進めるか。

A 障害への理解をより深めるため、布絵本の作成講座や静岡福祉大学との連携によりバリアフリー資料を活用した事業を考える。

子供達の豊かな学びのための 教員の働き方改革

Q 本市の教員勤務実態調査結果についての考察を伺う。

A 各校で選出された業務改善夢コーディネーターを中心に業務の効率化を進めてきたことや、支援員の配置増、心の教室相談員の勤務時間増、休日の部活動の地域移行などが結果に結びついていると考える。

Q 学校施設の地域開放、特に小学校の放課後、土日の開放を先生方が関与しない形でできるようなシステムにする考えはないか。

A 目的外使用であるが、学校や関係の各課等と協議しながら研究したい。

学びの保障に向けた 不登校対策

Q 心の教室（校内教育支援センター）をどのように利用し、また、その支援内容を伺う。

A 主として学校に登校はするけれども教室に入りにくい児童・生徒が利用し、落ち着いた雰囲気



むらた まさはる
村田正春
(自由みらい)



の中で自分に合ったペースで学習や自分の興味のあることに取り組みんでいる。

Q 市としての静岡バーチャルスクールについての考えは。

A 令和7年度からスタートする県の取り組みを見た上で、考えていきたい。

Q 東益津チャレンジで体験的な活動を取り入れることはどうか。

A 児童・生徒の「やりたい」をメインに、それとマッチした体験学習を重視し、カブトムシを飼育したり、地元の皆様のご協力により餅つき、しめ縄飾り作りをしたりしている。



2024年10月1日に開所した
教育支援センター「東益津チャレンジ」

政治倫理審査委員会



政倫審

審査結果報告書、弁明書などは、市HPに掲載しています。
二次元コードからご覧いただけます。

議会運営委員会において、モンゴル国訪問を行政視察とし政務活動費を充てようとした件に関し、通訳以外は1人で行ったと発言したが、実際には同伴者がいたため、虚偽の発言の疑いがあること、また、ブレイキングダウンのオーディションに市議会議員を名乗り、議員バッジを付け参加した件に関し、石原孝之議員に対し、令和6年11月12日、焼津市議会議員政治倫理条例に基づく審査の請求が、議員21名のうち、議長、石原議員を除く19名の議員から議長に対し提出され、「焼津市議会政治倫理審査委員会」が焼津市議会ではじめて設置されました。

合計5回の審査会による審査の結果、令和7年3月17日の議員全員協議会において、石原議員に対し、議会の措置として厳重注意を行いました。

懲罰特別委員会



会議録



本会議
配信映像

懲罰特別委員会の会議録、本会議の配信映像（3月19日の委員会審査結果報告・石原議員の弁明など）は市HPに掲載しています。
二次元コードからご覧いただけます。

令和7年3月5日の一般質問の質問中に石原孝之議員が不穏当な発言をしたとして、焼津市議会の品位を著しく傷つけ、市政への不信を招いたものとして、3月7日に懲罰動議が提出され、焼津市議会ではじめて懲罰特別委員会が設置されました。

審査の結果、2月定例会最終日の3月19日に、全会一致で陳謝の懲罰を科す議決がされました。しかし、石原議員はこれを拒否したため、同議員によるこうした態度は議会における議決を軽んじるものであり、焼津市議会の規律や秩序を乱し、品位を一層傷つけるもので、市政への不信を招くこと甚だしいものであることから、再度、懲罰動議が提出され、審査の結果、出席停止（1日）が全会一致で可決されました。